

令和2年度 西条市立中川小学校学校評価 児童・保護者アンケート結果と対応 <質問項目別>

項目	各項目の上枠は質問内容(上:保護者へ、下:児童へ) 下枠の「○」は結果 「☆」はその対応など
1	<ul style="list-style-type: none"> 学校は、地域の自然・文化・産業や人材を活用した学習に積極的に取り組み、地域のよさを伝えている。(保護者) 地域のことを調べたり、地域の人に教えてもらったりする勉強をしている。(児童)
	<p>○ 保護者の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、昨年度とほぼ同様の値であるが、児童の「思う」割合が、26%増加している。</p> <p>☆ 今年度は、昨年度に比べてより一層地域人材を活用した授業を取り入れています。今後も、地域のよさを児童が実感でき、地域ぐるみで中川っ子の育成を図る授業展開に努めていきます。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> お子さんは、学年に応じた時間(1・2年30~50分、3・4年50~70分、5・6年70~90分)家庭学習を行っている。(保護者) 毎日、忘れずに宿題をし、1・2年30~40分、3・4年50~70分、5・6年70~90分、家で勉強している。(児童)
	<p>○ 児童の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、昨年度とほぼ同様の値であるが、保護者の割合が約6%減少している。</p> <p>☆ 宿題は、個々の実態に応じて柔軟な量と質にしています。高学年を中心に自主学習も充実しつつあります。家庭との連携で、「学習の手引き」を活かした学習時間の確保に力を入れていきます。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> 学校は、指導方法(ICT活用や話し合い活動「学びあい学習」)を工夫し、一人一人に応じた家庭学習を行い、学力の向上に努めている。(保護者) 勉強でパソコンや電子黒板を使ったり、わからないことを友達に聞いたり、わかることを友達に教えたりしている。(児童)
	<p>○ 「思う」「やや思う」を合わせた割合は、児童、保護者とも、昨年度とほぼ同様の値である。</p> <p>☆ コロナ禍で、定着しつつある「学びあい学習」が十分に出来ない状況ですが、今後も、発達段階に応じた効果的な授業の工夫・改善に努めていきます。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> お子さんは、楽しく学校に通っている。(保護者) 学校に来るのが楽しい。(児童)
	<p>○ 昨年度と同様、保護者の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、95%以上と高い割合だが、児童の「思う」の割合が8%減少している。</p> <p>☆ 今後も授業改善等に努め、「わかる授業」「支え合う仲間づくり」「健やかな体づくり」を目指します。また、様々な活動を通して、自分自身の成長が確かめられる楽しさも広げていきます。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> お子さんは、学校で決められた役割(係や当番活動)や仕事を進んでしている。(保護者) 係活動や委員会活動、当番活動、掃除を一生懸命している。(児童)
	<p>○ 「思う」「やや思う」を合わせた割合は、児童、保護者とも約90%である。児童の「思う」割合が、昨年度と比べて約10%増加している。</p> <p>☆ 係や当番の活動、清掃等は、人に役立つことを実感できる場であり、その意義を確かめ合ったりやり遂げた姿を称揚したりしながら、一層の充実を図っていきます。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> お子さんは、人を思いやったり、美しいものに心を動かされたりするなど心豊かに育っている。(保護者) 人に優しくしたり、美しいものに心を動かされたりすることがある。(児童)
	<p>○ 保護者、児童とも、昨年度同様により結果である。しかし、保護者と児童の割合の差が昨年度と同様で、児童の値が保護者よりも約16%低く、その差が縮まっていない。</p> <p>☆ コロナ禍で計画していた各種活動が十分出来ない状況下ですが、今後も心に響く体験活動を通して、美しいものや素晴らしいことに心を動かされるよう、児童の情操を高めていきます。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> お子さんは、学年や異年齢集団活動(縦割り班活動)を通じて、友達と仲よくしようとする態度が身に付いている。(保護者) 学級や縦割り班活動で、友達と仲よく生活している。(児童)
	<p>○ 児童の「思う」「やや思う」を合わせた割合は、昨年度とほぼ同様の値であるが、保護者の割合が約5%減少している。</p> <p>☆ 今年度は、2学期より異年齢集団での遊び等の充実を図ってきました。コロナ終息後の学校行事やPTA活動における諸活動の広がり視野に入れながら、外遊びや運動の働き掛け及び工夫・改善を子どもたちと一しょに考え、取り組んでいきます。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> お子さんは、挨拶や場に応じた言葉遣いが身に付いている。(保護者) 挨拶や場・人に応じた言葉遣いをしている。(児童)
	<p>○ 昨年度よりも、児童も保護者も肯定的な割合(「思う」「やや思う」)が、85%以上と高くなっている。</p> <p>☆ 今後も、家庭・地域における挨拶や場や人に応じた言葉遣いができるよう、機会をとらえて指導を継続していきます。</p>

9	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子さんは、積極的に外遊びをしている。(保護者) ・ NSCなどの体力づくりに進んで取り組んでいる。(児童)
	<p>○ 児童の肯定的な割合(「思う」「やや思う」)は、昨年度とほぼ同様の値であるが、「思う」割合が約9%増加している。</p> <p>☆ 今後も、校内外における体力づくりが一層向上するよう、継続して働き掛けていきます。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯・口の健康をはじめとする健康教育は、お子さんの身につけている。(保護者) ・ 歯・口や体の健康のことを考え、歯みがきなどをきちんとしている。(児童)
	<p>○ 昨年度よりも、保護者の肯定的な割合(「思う」「やや思う」)は、約6%増加している。保護者と児童の「思う」割合の差が、昨年と比べて6%縮まった。</p> <p>☆ 昨年度からの改善した「元気生活チェック」を展開しており、ご協力に感謝します。今後も家庭と学校が連携を強め、健康教育活動を本校の伝統的な取組として、継続して取り組んでいきます。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校は、登下校や変災時の避難訓練等、児童の安全確保に積極的に取り組んでいる。(保護者) ・ 火事や地震、事故などがあった時、どうすればよいか分かり、避難訓練を熱心にした。(児童)
	<p>○ 児童、保護者とも肯定的な割合(「思う」「やや思う」)が90%以上と非常に高い。</p> <p>☆ 毎年、避難訓練の内容を吟味した取組を重ねています。次年度も避難訓練の充実を期し、自助・共助の防災意識を高めるとともに自分の命を守る行動がとれるようにしていきます。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員と保護者には、協力し合ってお子さんを育てようとする関係ができています。(保護者) ・ 先生を信頼し学校生活を送り、家族と学校の話をよくする。(児童)
	<p>○ 児童、保護者とも昨年度より肯定的な割合(「思う」「やや思う」)が約5%増加している。保護者が「思う」の割合は、昨年度より約9%増加している。</p> <p>☆ 1学期の臨時休業中は、数々の連携ができ感謝します。コロナ禍で、十分な参観の提供ができませんでした。今後も学校と家庭が共通の課題意識をもって健全育成に取り組むたいと思います。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTA活動は、児童の健全な成長と会員の親睦を図るものとなっている。(保護者) ・ 学級PTA(親子活動など)や学団PTA(子ども会行事など)の活動は楽しい。(児童)
	<p>○ 保護者は昨年度と同様の結果である。児童は、新型コロナウイルス感染症の影響で親子活動や子ども会の行事を中止したため、アンケートを実施できなかった。</p> <p>☆ ほとんどの活動が中止されましたが、今後はコロナ禍の感染症対策を考慮しながら、PTA活動の見直しや改善を行い、児童の健全な成長と会員の親睦を図っていくようにしたいと思います。</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事の内容や回数は、子どもにとって適切である。(保護者) ・ 学校の行事は楽しく、回数もよい。(児童)
	<p>○ 昨年度と同様、肯定的な割合(「思う」「やや思う」)は、児童、保護者とも85%以上である。昨年度より、保護者の肯定的な割合が6%増加した。</p> <p>☆ 各行事を通して児童に身に付けさせたい力を明確にしつつ、児童が主体的に企画する活動も積極的に取り入れ、家庭や地域と連携しながら取り組んでいくようにしていく方向でいます。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校は、積極的に学校の様子を公開し、開かれた学校づくりに努力している。(保護者) ・ 学校だよりや学級だよりなどお知らせのプリントはきちんと家の人に見せている。(児童)
	<p>○ 保護者の肯定的な割合(「思う」「やや思う」)は、前年と同様である。児童の「思う」の割合が約10%増加した。</p> <p>☆ 毎日のホームページ更新、定期の学校だより発行等、開かれた学校づくりに努めています。また、日頃よりこまめな連絡に努めてもいます。様々な情報を通じ、お子様との会話が弾めば幸いです。</p>
16	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子さんは、該当学年の学習内容が身に付いている。(保護者) ・ この学年で勉強していることがわかっている。(児童)
	<p>○ 児童、保護者とも肯定的な割合(「思う」「やや思う」)は、昨年度と同様である。児童の「思う」の割合が約26%増加した。</p> <p>☆ 保護者、児童ともに良好な結果ですが、これに甘んずることなく、各学年で学習内容の定着に一層の力を注いでいきます。家庭での見届けもいただくと助かります。</p>
17	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子さんは、教職員からの体罰を訴えることなく生活している。(保護者) ・ 先生からたたいたり、けったりされないで生活している。(児童)
	<p>○ 児童、保護者とも昨年度同様ほとんどよい結果である。</p> <p>☆ 今後も、体罰は絶対にしない体制づくり、教職員間での確認を徹底するとともに、家庭と連携して、様々な問題の早期発見に努め、迅速な対応にも結び付けます。</p>
18	<ul style="list-style-type: none"> ・ NSCの活動(回数、時間)は、子どもたちにとって適切である。(保護者) ・ NSCの活動の回数や活動は、ちょうどよい。(児童)
	<p>○ 保護者の肯定的な割合(「思う」「やや思う」)は、昨年度と同様である。昨年度よりも、児童と保護者の肯定的な割合の差が、約7%に縮まった。</p> <p>☆ 臨時休業後の学習NSCへのご協力に感謝します。今後も、児童の負担を考慮しながらNSCの充実を図っていきます。</p>

